



リテール&プリンティング

Retail and Documentation Solutions

地球規模での環境変化や、複雑化する社会課題の解決に貢献するため、これまでリテール及びプリンティングの事業で得たフィジカルアセットを最大限活用し、優れた独自技術により、確かな品質・性能と高い利便性を持つ商品・サービスをタイムリーに提供する製品開発に取り組んでいます。

これからの働き方や働く場所の多様化に応える カラー／モノクロ 中／高速複合機 e-STUDIO シリーズ



カラー／モノクロ 中／高速複合機 e-STUDIO シリーズ
e-STUDIO series medium-speed full-color and high-speed monochrome multifunctional peripherals (MFPs)

ますます多様化するこれからのワークスタイルに正確かつ柔軟に応える、信頼性の高い複合機として、e-STUDIO4525ACを含む5シリーズ8機種20モデルを製品化した。

商品コンセプトは“Workstyle Renovation”であり、作業効率と生産性の向上、及び情報セキュリティ強化により、快適に操作できるソリューションを提供する。開発にあたり、国内・海外ユーザー及びディーラーの声を取り入れて、スマートオペレーション、クラウド・モバイル連携、カスタマイズ、及び環境性能の四つのポイントを集中検討し、全360件の項目について従来機の性能や品質を向上させた。

スマートオペレーションでは、給紙カセットの出し入れをスムーズにする自動引き込み機能や、人が近づくと節電モードから復帰動作を始める人感検知機能、悪質なソフトウェアの動作を防ぐアンチマルウェア機能などを搭載した。また、データ暗号化や暗号鍵を強化したTPM2.0^(注)にも対応し、業界トップクラスのセキュリティ性能を達成した。

クラウド・モバイル連携では、複合機とクラウドシステム上のデータを共有して、オフィスにとどまらず、いつでも、どこでもスキャンや印刷を行えるようになり、ハイブリッドワークに柔軟に対応できる。保守面では、遠隔操作で操作パネルの共有が可能になり、設定変更や操作アドバイスによって、顧客の利便性を高めた。更に、故障予測機能で未然に故障を防ぎ、保守費用削減に貢献する。

カスタマイズの観点では、顧客が操作パネルを好みのデザインに変更する機能を向上させ、オープンプラットフォームとしてのSDK (Software Development Kit) 提供により機能を拡張して、外部ベンダーによるアプリケーションやシステム開発におけるカスタマイズ性を高めた。

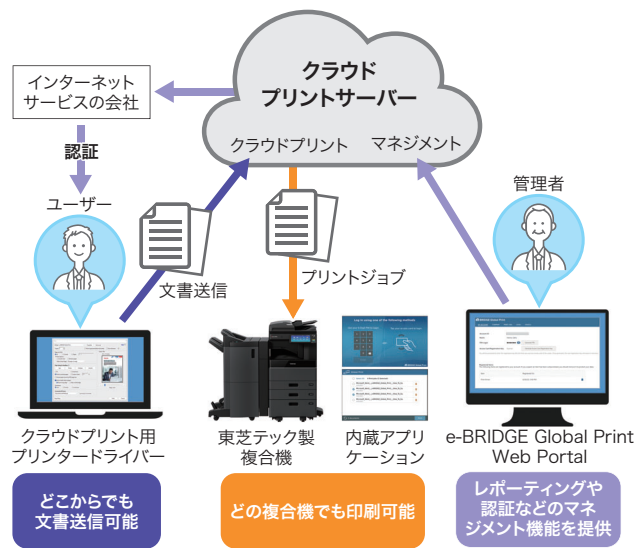
環境性能では、新規定着技術により消費電力の削減を実現した。

これらに加え、開発上流での品質向上施策により開発効率を大幅に改善し、複合機でのプラットフォーム開発を完成させた。

(注) Trusted Platform Moduleの最新のセキュリティ規格。

東芝テック(株)

■ どこからでも文書送信できる利用しやすいクラウドプリントサービス e-BRIDGE Global Print



e-BRIDGE Global Print の概要

Overview of e-BRIDGE Global Print cloud printing service

当社製複合機で印刷するためのクラウドプリントサービス e-BRIDGE Global Printを開発し、提供を開始した。このサービスを導入すると、どこからでも文書ファイルを送信できて、どの複合機でも印刷できる。

従来と共通のユーザーインターフェースを用いることで、既存の顧客は導入前と同じ操作感で“どこでも印刷”を実行できる。また、レポート機能や認証機能などの必要最小限のマネージドドキュメントサービスを安価に提供することで、当社の主要顧客層である中小企業の顧客への普及を目指す。

今後は、クラウドシステムとの親和性が高いモバイルデバイスからの文書送信や、誤印刷を防ぐための複合機パネル上でのプレビュー画面表示、他社複合機が混在しても同様のサービスを提供するための他社複合機からの印刷機能などの開発を計画している。

東芝テック (株)

■ キャッシュレス会計専用セルフレジ SS-N1C



キャッシュレス会計専用セルフレジ SS-N1C

SS-N1C self-checkout system for dedicated cashless payment

量販小売店向けに操作性を向上させたキャッシュレス会計専用セルフレジSS-N1Cを、2022年9月にリリースした。

セルフレジの操作者は、主に消費者である。そこで、消費者の操作性向上のために、セルフレジの作業で最も頻度が高い商品登録の作業に着目し、二つの取り組みを実施した。一つ目は、レイアウトの見直しである。商品登録作業に関する商品登録エリアと袋詰めエリアの距離を前機種SS-900より短くし、商品登録から袋詰めまでの時間を約8%短縮した。二つ目は、スキャナーにサブスキャナーを連動させて、読み取りエリアを補完することで読み取り性能の向上を図った。読み取りエリアを補完したことで、読み取り成功率が約6%向上し、操作が不慣れな消費者にも登録しやすくなった。

東芝テック (株)

■ 決済端末 CT-6100/PICT-6100



ユーザビリティを向上させた決済端末CT-6100/PICT-6100
CT-6100/PICT-6100 payment terminal with enhanced usability

クレジット、電子マネー、及びコード支払いをはじめとするあらゆるキャッシュレス手段を取り扱える決済端末CT-6100/PICT-6100を、2022年12月に発売した。

端末の統合化を図ることで、従来機の3端末2電源構成から、2端末1電源構成への変更を実現し、レジ回りの省スペース化や、ケーブル取り回しの簡易化、設置レイアウトの自由度の向上につなげた。また新たに、クレジットの3面待ち(磁気カード・接触ICカード・タッチ決済)やソフトウェアキーボードによる暗証番号入力に対応し、従来機に比べてユーザビリティも大幅に向上させた。

決済端末に求められる最新のセキュリティ規格PCI PTS V6.0を取得するだけでなく、暗証番号入力時の数字キーをランダムに表示し、のぞき見防止フィルムを内蔵したことで、安心して利用できる。

東芝テック(株)

■ ELERAに対応した売り場移動型セルフレジシステム ピピットセルフ



ピピットセルフ
Pipitself mobile self-checkout system connecting to ELERA Commerce Platform

店舗に買い物に来た消費者が、売り場を移動しながら商品登録を行い、会計機で支払いを完了できるセルフレジシステム“ピピットセルフ”を開発した。このシステムは、当社が開発を推進するグローバルリテールプラットフォームELERA上に構築される。ELERAは様々なマイクロサービスとの連携が可能で、各店舗に合わせたソリューションを提供できる。

ピピットセルフは、店舗が用意する専用カートタイプと、消費者のスマートフォンを利用するタイプがあり、両タイプ併用もできる。

消費者は、商品のバーコードを、カートのスキャナーかスマートフォンのカメラにかざして商品を登録する。バーコードがない商品の画面からの登録や、値引きシールの認識も可能であり、登録した商品や価格を、リアルタイムで確認できる。また、買い得情報・販促情報が提供されるので、より快適で豊かな買い物スタイルを楽しめる。会計は、ピピットセルフ専用会計機で、よりスピーディーに済ませることができる。

また、店員用の端末からリモートで取引状況を確認し、消費者の買い物や会計を支援することもできる。

東芝テック(株)